

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公表番号】特表2014-520764(P2014-520764A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-517444(P2014-517444)

【国際特許分類】

C 07 K	7/06	(2006.01)
C 07 K	5/10	(2006.01)
C 07 K	5/08	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	25/28	(2006.01)
A 61 P	25/00	(2006.01)
A 61 P	25/16	(2006.01)
A 61 K	38/22	(2006.01)
A 61 K	38/27	(2006.01)

【F I】

C 07 K	7/06	Z N A
C 07 K	5/10	
C 07 K	5/08	
A 61 K	37/02	
A 61 P	9/10	
A 61 P	25/28	
A 61 P	25/00	1 0 1
A 61 P	25/16	
A 61 P	25/00	
A 61 K	37/24	
A 61 K	37/36	

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月26日(2015.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アミノ酸が3から6個の配列で、フィコシアノビリン構造を有する発色性ペプチド(P C B - a a)において、アミノ酸配列が、配列番号1～配列番号5と同定された配列によって構成される群から選択されることを特徴とする上記発色性ペプチド(P C B - a a)。

【請求項2】

請求項1に記載の発色性ペプチド(P C B - a a)の少なくとも1つ及び許容される医薬添加剤を含むことを特徴とする医薬組成物。

【請求項3】

虚血性及び神経変性疾患の予防及び治療のために、配列番号1から配列番号5にある前

記発色性ペプチド (P C B - a a) の少なくとも 1 つを 0 . 9 ~ 3 . 3 7 5 m g の範囲で及び薬学的に許容される添加剤を含むことを特徴とする、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

配列番号 1 ~ 配列番号 5 と同定された請求項 1 に記載のペプチド及びフィコシアノビリンによって形成される群から選択された、虚血又は脳変性の予防又は治療のための化合物。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の化合物を含む、虚血性、炎症性又は神経変性損傷と共に進行する中枢神経系 (C N S) 疾患を予防又は治療するための医薬組成物。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の化合物の少なくとも 1 つを含む、虚血又は組織変性の予防又は治療のための医薬組成物。

【請求項 7】

虚血又は組織変性が、虚血性、炎症性又は神経変性損傷と共に進行する C N S 疾患を引き起こす、請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

構成要素が相乗効果を有し、請求項 4 に記載の配列番号 1 ~ 配列番号 5 と同定されたペプチド及びフィコシアノビリンからなる群から選択された第 1 の構成要素、並びに I 型インターフェロン、インターロイキン - 2 (I L - 2) 、エリスロポエチン (E P O) 、アシアロ E P O 及びヒト成長ホルモンの分泌促進ペプチド (G H R P - 6) によって構成される群から選択された第 2 の構成要素を含むことを特徴とする、薬学的組合せ。

【請求項 9】

第 2 の構成要素がインターフェロン 又はインターフェロン の場合がある、請求項 8 に記載の組合せ。

【請求項 10】

配列番号 1 から配列番号 5 と同定された前記ペプチドのいずれかを 0 . 9 ~ 3 . 3 7 5 m g / K g 重量、フィコシアノビリンを 3 0 0 ~ 7 5 0 μ g / K g 重量及びインターフェロン 又は を 5 0 0 ~ 5 0 0 0 n g / K g 重量で使用する、請求項 8 に記載の組合せ。

【請求項 11】

配列番号 1 ~ 配列番号 5 と同定されたペプチド及びフィコシアノビリンによって形成される群から選択された第 1 の構成要素、並びにインターフェロン (I F N - a) 及びインターフェロン (I F N - b) を含む I 型インターフェロン；インターロイキン - 2 (I L - 2) ；エリスロポエチン (E P O) ；アシアロ E P O 及びヒト成長ホルモンの分泌促進ペプチド (G H R P - 6) によって形成される群から選択された第 2 の構成要素を含み、虚血、炎症又は神経変性に起因する C N S 疾患を予防又は治療する医薬を製造するための、請求項 8 に記載の薬学的組合せ。

【請求項 12】

前記医薬が、急性又は慢性疾患の結果として損傷を受けた脳実質を保護する、請求項 1 に記載の薬学的組合せ。

【請求項 13】

前記 C N S 疾患が、原因が異なる脳虚血、多発性硬化症、アルツハイマー病及びパーキンソン病を含む、請求項 1 1 に記載の薬学的組合せ。

【請求項 14】

配列番号 1 ~ 配列番号 5 と同定されたペプチド及びフィコシアノビリンによって構成される群から選択された第 1 の構成要素；並びにインターフェロン (I F N - a) 及びインターフェロン (I F N - b) を含む I 型インターフェロン；インターロイキン - 2 (I L - 2) ；エリスロポエチン (E P O) ；アシアロ E P O 及びヒト G H のペプチド分泌促進 (G H R P - 6) によって構成される群から選択された第 2 の構成要素を含む薬学的組合せを含む、虚血、炎症又は神経変性に起因する C N S 疾患の予防又は治療のための医薬組成物。

【請求項 15】

前記組合せが、急性又は慢性疾患の結果として損傷を受けた脳実質を保護する、請求項14に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記組合せを形成する前記構成要素が、原因が異なる脳虚血、多発性硬化症、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳運動失調症、ハンチントン病及びパーキンソン病などのCNS疾患の薬物治療の過程の間に、同じ対象に同時に又は逐次的に投与され得る、請求項14に記載の医薬組成物。